

科学体験学習旅行



7月24日から2泊3日で、1年SSHクラス41名が科学体験学習旅行をしました。見学先は、愛知県の生理学・基礎生物学・分子科学研究所、岐阜県の核融合科学研究所、静岡県の浜松ホトニクス株式会社、東海大学湘南校舎、瑞浪市化石博物館、東海大学海洋科学博物館です。また、TA(ティーチング・アシスタント)として2・3年生のSSHクラスの生徒5名が参加し、1年生をサポートしました。各施設での講義、実験・実習を通して、生徒たちは普段の授業ではできない貴重な体験をすることができました。

3日間で得たもの

1年10組 山崎 秋桜

私は夏休み中に科学体験旅行に行きました。科学体験旅行の目標として、プレゼン能力の向上、知識のインプットを掲げました。

私が一番印象に残っている場所は、東海大学海洋科学博物館で見学した「夜の水族館」です。ここで私はクマノミを見学しました。クマノミは単体で泳いでいるイメージを持っていましたが、夜になると集団になって泳いでいました。水族館ではクマノミの隠れ家であるインゴゲンチャクと離して展示しているの、他の生物に食べられないように集団になっています。夜の水族館でしか見られないものが見られたので、すごうれしかったです。

プレゼンの技術面もかなり上がったと思います。見学に行ったそれぞれの所について、バス内でプレゼンをしたり、夜は井上先生の授業を受けました。どうしたら時間内でより濃い内容のものを作れるのかということ、話すスピードに苦戦しました。ですが、3日間プレゼンをすることで時間の感覚や話せる量をつかめるようになりました。行く前はバス内プレゼンは嫌だなと思っていましたが、今ではやってよかったと思います。

私はこの3日間でしっかりと目標を達成し、レベルアップできました。これは先生方、先輩方のおかげだと思います。ありがとうございました。充実した3日間だったので、またこのような機会があれば参加したいです。



湘南キャンパスで材料について学ぶ様子



真空実験を体験

科学体験旅行記

1年10組 澤田 強希

私は今回の科学体験旅行を通して掲げていた「知ったことを言葉で簡潔に発表する」という目標が少し達成できたように思います。もともと興味があったことを調べるまではできたのですが、それをうまく言葉にして伝えることがこれまでではできませんでした。ですが、3日目の分子科学研究所のプレゼンの時に、視覚的資料が使えず口頭だけの発表を行ったときに、我ながら最初の自己紹介の時よりうまく簡潔にまとめられたように思いました。また、TAの先輩に「前よりも上手になったと思うよ」と言われた時に、とてもうれしかったとともに自信につながりました。

さらに2泊3日の長い旅行の中で多くの企業・研究所を訪問し、自分が知らなかった技術や現象を知ること、今までより多くの分野に興味・関心を持つことができました。これをもとにして今回学んだことの詳細を調べたりして、知識を得て、それを深められればよいと思います。

科学体験学習旅行に同行して

2年10組 高橋 凌真

今回、私はSSH1年生の科学体験学習旅行にTAとして同行してきました。

1年生の時とは違い、当日の1年生の指導やバス内プレゼンの進行など、旅行に「参加」するのではなく、旅行を「進行」する側でしたが、他のTAたちと指導や誘導を分担することにより自分に余裕ができ、全体を見通した上で次にどんな指示、誘導をすればいいかということを考えられ、うまく進行することができました。今回の旅行で1年生はプレゼン能力をはじめ知識力や精神力が格段にアップしましたが、我々TAも大勢の人たちに対しての誘導力や指導力を鍛えられ、大きく成長することができたと思います。1年生ではSSH活動に必要な不可欠なプレゼン能力をつけることや、課題研究での自分のテーマ探しができます。そして、TAとして参加した2・3年生は全体をうまく誘導したり、指導することができます。そんな人材を育成できるこのプログラムはとても有意義なものだと感じました。



井上先生によるプレゼン演習